

佐事研だより



佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 森 清隆

会員各位

新年度が始まり、会員の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、本年度最初の「佐事研だより」をお届けします。公務員制度改革、義務教育費国庫負担の問題、市町村合併など、我々を取り巻く状況の危機は、計り知れません。県費給与関係事務本庁一元化は、その一例ではないでしょうか。

平成15年度 第1回理事研修会について(要旨)

佐賀県公立小中学校事務研究会 第1回(実質第2回)理事研修会報告

期日 平成15年5月16日

場所 アバンセ 13:30 ~

1. 第1回理事会(4月24日)後の経過報告
会長・副会長・事務局長・研修部長等による、関係各所への挨拶回り及び大会の後援依頼などの報告がありました。
2. 地区選出役員名簿等の提出について
・各地区より理事、研修部、調査広報部の役員名簿を提出。一部地区については未定もあり、大会当日までには選出の予定。
3. 平成15年度定期総会並びに研修会(第14回研究大会)について
(1) 総会議長(杵西・大串さん/山代東小)(東松・新郷さん/納所小)が推薦されました。
(2) 事務局及び各専門部から提出された6月5日の佐事研総会議案書(案)の事前検討が行われました。総会当日に審議される内容を事前に知りたい方は、各地区理事までお問い合わせ下さい。
(3) 全国事務研究会加盟について
・各理事より各地区の論議の状況を報告
・要請があれば、総会までに常任理事が各地区研修会に出掛けていき、説明などを行うことになりました。総会では、別号議案で提案することが確認されました。
4. 県費給与関係事務本庁一元化の件について
教職員課へ説明会開催の申し入れをしたところですが、「今後のシステムについての説明会開催は検討するが、どうして一元化になったのかというような経過等については説明しない」という回答でした。
5. 秋の研究大会日程について
平成15年10月29日(水)場所はアバンセの予定です。
6. 会費納入の件
まだ、納入されていない地区は、大会当日の納入となります。

7. 日渡さんを囲む会について

第14回大会で講師にお招きします宮崎県教委の日渡さんを囲み懇親会を開催いたします。

期日 平成15年6月5日(木) 午後6時より

場所 佐賀市「じんぎすかん」

各地区の理事にて参加をとりまとめていただき、5月30日(金)までに千代田中部小学校・野口さんまで、名簿をご送付下さい。(FAX番号 0952-44-3794)

「佐事研だより」のSmall Talk(世間話)

野球のバットよもやま話

皆さんのなかで、野球やソフトボール部の顧問等をした経験がある人はおられますか?

私自身、野球が好きなせいかわり予算に組んであるクラブ費を使って、毎年メーカーを変え、野球部やソフトボール部にバットを購入して配りました。たかだかバットくらいで・・・と思うかもしれませんが、物によっては質的にかかなりの違いがありますので、各種類ごとに自分で気付いたことを説明したいと思います。(なお経験者の方は「いや、そうじゃない。」と思う方もおられるでしょうが、あくまで自分で感じたことですので、ご容赦下さい。)

アルミ製

軽量にできるので今のところ一番多く出回っている。ただし手にくる打球のシビレ感は大きく、打球のスピード、飛距離もあまり期待できない。メーカーによっては表面にざらついた加工をしたり硬式材(アメリカの宇宙船に使われているという軽合金材)などを利用したりしてかなり改善されている。金属にしては表面がやわらかいせいかわり、安価なものは数年でボコボコになるので練習用に回したりしているらしい。ソフトボールはほとんどがアルミ製で、去年の中体連の試合ではどの学校もオリンピック選手が使っているような数万円もする高価なバットを持ってきていた。M社のがいちばん質的に安定していると思う。

カーボン製

一時期流行った。バット以外にも釣具、防弾チョッキ、ゴルフ用具など多種利用されている。打った時のシビレ感はそれほどなく、打球も伸びるので個人的には一番好きな材質である。だが重量感が大きくなるのが欠点。最近はコスト減のせいかバットの内部を空洞化したり、アルミの上から薄くカーボンファイバーを巻き付けただけにしたりして以前みたいによく飛ぶバットはなく、アルミ製と大してかわりはなくなったと思う。10年くらい前まではかなり飛ぶバットが出回っていたのに。

木製

木製といってもその中に青ダモ、ホワイトアッシュ、竹等の種類があり販売されている。近年は木の伐採が制限されているのか年々高価になってきている。手の衝撃感が一番大きく、しかも折れたり剥げたりしやすく危険である。ボールを真芯に当てないと飛ばず、その真芯の範囲が金属製に比較してもものすごく狭いので芯に当たるまでかなりの技術を必要とし、周囲の試合で木製を使っている人は誰もいないのでは?今は硬式野球ぐらいしか見ることはないが、そのうち本当に消滅するのではと思う。

以上、簡単にバットの種類について述べましたが、もし前述のような女子の中学生にオリンピックで使うようなバットを使用させたら守る方は打球の速さについていけず、正直ケガの心配までしなければならないと思うことがありました。バット一本で勝負が決定するようなことはないと思いますが、いくらかのアドバンテージにはなると思いますので気にとめておいたほうがいいかもしれません。

今年一年よろしく願いいたします。・・・調査広報部一同

アクセス! (<http://www.saga-ed.go.jp/materials/SAJIKEN/>)